

式辞

夏の暑い光が降り注ぐこの佳き日に、本日ここに大阪府立牧野高等学校創立 50 周年記念式典を挙行できますことは喜ばしいかぎりです。また、式典を挙行するにあたり、大阪府教育委員会教育長 水野達朗様をはじめ、大阪府立学校長協会様、歴代校長の皆さまなど、多数のご臨席を賜り、生徒・教職員一同、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。また、創立 50 周年事業実行委員の皆さまには、本日の式典開催に向け、多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて、本校は 1976 年、枚方市八景の一つである「牧野公園」や、大阪府有形文化財指定「片埜神社」、「牧野車塚古墳」など歴史的にも貴重な文化財のある、自然と文化が広がる牧野の地に、第 1 期生 450 名を迎え、誕生しました。創立以来、「強靱な身体と強靱な精神の涵養」「高い知性と豊かな情操の統治」「道徳的実践力と人間尊重の精神の育成」を柱とし、現在でも、「自尊」「自浄」「自助」を合言葉に、「自らを尊び大切にし」「自らを清め」「自らの力で歩いてゆく力」を身につけるべく、教職員・生徒が一丸となって活動をしています。

この間、新型コロナウイルスのパンデミックをはじめとした、幾多の試練や困難がありました。しかし、在校生は、目の前にあることに全力で取り組み、何事にも精一杯力の限りを尽くすという、牧高生の魂を確かに受け継ぎ、豊かな学校生活を送っています。これも、ひとえに本校に在籍されました卒業生の皆さまが、脈々とその力を引き継ぎ続けて頂いた賜物と、感謝しております。今後も、牧高生としての誇りと心を引継ぎ、次の 10 年、50 年に向かい、しっかりと邁進してまいります。

さて、在校生の皆さんは、50 周年を迎え、この場に立ち会えたことに、どんな思いを巡らせているでしょう？区切りの年に巡り合える機会は、そう多くはありません。その意味でも、皆さんとは、貴重な時間を共有させて頂いていることになります。いま、社会は予測不能の時代と言われています。AI の登場により、社会は大きく、また急速に変化し続けています。だからこそ、学力では測れない非認知能力が必要になります。自ら課題を発見し、主体的に情報収集をしながら、解決方法を探る力は、まさに人に与えられた力です。また、そのためには豊かなコミュニケーション力や、他者を理解する心も必要となります。総合的な人間力を身につけることが、今の時代を生き抜く鍵になります。

今後、皆さんは、新たな牧野高校の伝統を作る立場になります。ぜひとも、先輩たちの思いを受け継ぎつつ、自分らしさを発揮できる伝統を作り続けてください。現在のパナソニックの礎を築いた松下幸之助氏は、「立派な歴史伝統を持つ会社でも人を得なければ徐々に衰微する。歴史、伝統を生かすのも人である。」という言葉を残しています。学校もまた、会社と同じく、生徒が更なる伝統を築いていくものと言い換えることができます。在校生の皆さんが、大きな宝石の原石として、今後も自らをますます光り輝かせながら、より良い伝統を創り続けてくれることを期待します。

結びに、本日ここにおられる在校生の皆さんはもちろん、お越しいただきました皆さまの、今後のますますのご活躍とご健勝を祈念し、式辞といたします。

令和 7 年 7 月 11 日

大阪府立牧野高等学校
校長 伊藤 義孝